

平成三十年一月一日 祈願祭

神 示

迎えた年の課題を教えん

家族で「教え」を学び 家庭に生かす努力が大切

人類は 時代の変化を受け入れ 時代の流れに乗って「生きる」 眞実を悟る

神示「眞理」を学ぶ者は 信者 ますます「眞理」の価値を味わい 救われてゆく

この世は 運命実体が重なり 時にぶつかり合って 調和を保って流れている

万物全ての存在が 有限の命運命に生かされて 時代となるのである

人類は 時代 歴史の眞実に気付かず 人間が時代をつくると思う

社会がまとまらず 乱れる因が ここにある

神が使者を通して 社会 世に示す「教え」を学び 心の姿に生かしてごらん

自然と気持ちは安定し 人間 人がつくる社会の流れに 心のまれることなし

この時 「生きる」環境も安定し 奉仕に生きる心人間が 社会を調和させる

社会の姿は ますます明と暗 生きる姿環境が大きく分かれてゆく

信者は 「教え」に悟りを得て 社会の「眞実」 あるべき姿を知って

「眞理」に生きる努力が必要

「眞理」が信者の心人生を 明るく「夢」ある環境へと導いてゆく

精神世界の眞実を悟り 「運命」に重なる人生を歩む

今 今日 人類は 「眞理」に根差す生活を求め 物事全てを単純な姿へと返してゆく

政治 経済も 基もとは自然の力に沿って 生活の中に生まれた知識

なれど 眞理を忘れ 非理に生きる心自我にのまれて

「道」 欠く社会を生み出してきた

実体を下げ 社会の不安 迷いも 極限を迎えて

いよいよ自然の力運命が調和の姿へと社会を返してゆく

「教え」に生きて 心潤う 明るい環境に生きる信者を目指せよ